

平成28年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業の状況	7
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	7
公2 生活創造活動への支援	15
公3 芸術文化の振興	18
公共 丹波地域情報の発信等	19
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	20
他1 芸術文化団体等活動支援事業	20
III 法人会計	21
施設の利用状況	23
(1) 丹波の森公苑	23
(2) 丹波年輪の里	24
(3) ささやまの森公園	24
(4) 丹波並木道中央公園	25
事業の受託状況	27

平成28年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化、平成24年に公益財団法人へ移行）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところであり、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開していく。

平成28年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公園」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、フィールドミュージアム推進プロジェクトなど恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

尚、並木道中央公園については、平成23年4月より本年3月まで、兵庫県園芸・公園協会と当協会の共同事業体が指定管理者として管理運営にあたってきたが、昨年10月、県のプロポーザル審査により再度、共同事業体が指定管理者として指名された。

本年度より5年間、共同事業体で引き続き管理運営にあたることになるが、今回は当協会が代表者として統括責任を担うことになるため、協会としても総力を挙げて同公園の適切な管理運営に務めていきたい。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

- ・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。
- ・「県立丹波年輪の里」では、木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、森林や環境を考える心を育てる木育を推進していく。
- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。
- ・「県立丹波並木道中央公園」では、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進する。
- ・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

平成 28 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 美しい村づくり活動支援事業
- エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）
- オ 丹波の森研究所の充実
- カ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
 - ・ 丹波氷上回廊ホームページの運営
 - ・ たんば交流実践リーダー育成モデル事業
 - ・ 「地域ラボ」整備可能性調査検討業務

キ 花づくり活動支援事業

ク 丹波の森フェスティバルの開催

ケ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

コ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

サ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進

ア 里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

イ 里山創造活動支援事業

ウ 森づくりアドバイザーの設置

エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

オ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

イ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

ア 放送大学センター外視聴教室の運営

イ 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学院）の開設

エ 講座「丹波学」の開設

オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業

カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) 暮らしの安全安心の推進

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

(4) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入

【全施設】

イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

ウ 丹波の森公苑長杯ふれあい中学生ソフトテニス大会の開催

エ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(5) 公2 共通経費

ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催

イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催

エ 展示ギャラリーの開設

オ 伝統文化活性化支援事業

カ 座っ展 2016-丹波でうまれた木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

ア 情報誌「丹波の森」の発行等

【全施設】

イ 運営委員会の開催

【全施設】

ウ 丹波の森公苑開園 20 周年記念式典

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

平成 28 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化(地域づくり)の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第 26 期 テーマ 再び丹波から発信する「地域創生」 ・受講生数：53 人 ・受講料：10,000 円 ・開催時期：6 月 28 日(火) ～12 月 6 日(火) 全 11 回のさまざまな講義を実施	1,307,000	1,301,140	
	イ ウィーンの森親善訪問事業	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○ウィーンの森親善訪問事業 平成 29 年度訪問予定の企画・実施 ○オオムラサキ飼育支援事業 オオムラサキの飼育環境の助言と情報交換	288,000	280,191	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業	人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり(丹波の森構想)を進めるために、住民・事業者・行政が一体となった丹波の美しさを守り活かす活動を支援する。	昨年度に引き続き、丹波、丹後、但馬の三たん地区の環境学習拠点の連携を図る取組を行う。 ○地球育ミュージアム研究会 (コネクト三たん) (丹波、丹後、但馬の環境学習拠点の連携) ・研究会：第 1 回 5 月 30 日(月) 第 2 回 7 月 6 日(水) ・5 施設連携イベント 開催日：7 月 23 日(土) ～10 月 30 日(日) 場 所：丹波並木道中央公園、丹後海と星の見える丘公園、琴引浜鳴き砂文化館、山陰海岸ジオパーク館、コウノトリ文化館 内 容：おもいでボックス&スタンプラリー	321,000	319,875	
	エ 人材活用推進事業(丹波の森市民研究員制度)	地域の現状を把握し、より地域の課題に対応した実践的な活動を支援するため、地域の優れた人材や実践組織を「市民研究員」として登録し、地域への派遣を通じてそれぞれの人材の有する知識や技術等の経験を地域に還元する。	○市民研究員の派遣 6 件 ○「語りべクラブ」による「丹波のむかしばなし」の紙芝居上演と、ビザ窯を使った子育て事業に市民研究員を派遣。 ・6 月 5 日(日) 柏原町屋敷自治会の「敬老の集い」 参加者：38 人 ・6 月 19 日(日) ぐりぐらクラブの「料理を通しての双子及び保護者の交流会」 参加者：52 人 ・7 月 9 日(土) 丹波市立南小学校 1 年生学年活動「石窯でビザを焼こう」 参加者：55 人 ・10 月 29 日(土) 丹波の森フェスティバル 2016 (3 件) 参加者：80 名	32,000	31,404	
	オ 丹波の森研究所の充実	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○研究交流会を通じた情報交換、方向検討、テーマ発掘など ・丹波の森研究所研究交流会 第 1 回 5 月 24 日(火) 第 2 回 7 月 26 日(火) 第 3 回 10 月 25 日(火) 第 4 回 12 月 28 日(水) 第 5 回 3 月 30 日(木) ○恐竜化石等を活かしたまちづくりの支援 ○研究所活動の広報・PR(情報誌「丹波の森」) ・情報誌「丹波の森」にて、「たんちゃんとおふくろう爺さん」のコーナーで丹波地域や地域づくりについて、分かりやすく解説。	10,937,000	10,415,119	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	カ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	<p>○丹波のまちづくりについての調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな丹波の森構想に向けての基礎調査 ・丹波の森構想20周年以降の地域づくりについての調査 ・丹波地域の古民家再生・利活用についての基礎調査 <p>○アドバイザー派遣等重点地区の支援</p> <p>篠山市：丹波篠山ひなまつり実行委員会 9月13日、11月9日、3月17日</p> <p>丹波市：神楽地区 2月26日 多利地区 2月10日</p> <p>○まちづくりに関する四者(県民局・篠山市・丹波市及び森協会)連絡調整会議開催</p> <p>第1回 5月20日(金) 第2回 11月16日(水)</p> <p>○企業と住民の協働による企業の森・里づくり事業</p> <p>森づくり協議会(篠山市2地区、丹波市3地区)のコーディネート及び活動支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート対象の森づくり協議会 (1) 油井鎮守の森を守る会 (地元：篠山市油井地区、企業・団体：三菱電機神戸製作所) (2) 篠山宮代の里森林保全協議会 (地元：篠山市宮代地区、企業・団体：(株)阪急阪神交通社ホールディングス) (3) 遠阪アサヒの森づくり協議会 (地元：丹波市青垣町遠阪地区、企業・団体：アサヒホールディングス西宮工場) (4) 神船・大名草の森づくり協議会 (地元：丹波市青垣町神楽地区、企業・団体：三菱重工業神戸造船所) (5) 甲賀の里森づくり協議会 (地元：丹波市水上町成松連合区、企業・団体：東洋電機株) ・サポート及びコーディネート業務 <p>油井地区：4月9日、5月28日 11月19日、12月17日 2月18日</p> <p>宮代地区：6月2日 神楽地区：8月31日 遠阪地区：4月6日、5月14日 成松地区：5月27日</p> <p>○丹波・篠山まちづくり交流会の企画・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：12月3日(土) ・場所：丹波市柏原町住民センター ・内容：まちづくり事例発表(2地区)とワークショップ「たんば交流新聞を作ろう！」 <p>○丹波篠山ひなまつり事業の事務局とコーディネート業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：3月18日(土)～26日(日) ・篠山市内8地区で「丹波篠山ひなまつり」を開催 <p>「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が9回開催される中で当協会が事務局、丹波の森研究員がコーディネーターを務め、企画・立案、事業アドバイスをを行った。</p>	2,236,000	2,211,661	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、その価値や意義、丹波の魅力を広く全国に発信するとともに、当協会が主導してまちづくり協議会(構成団体:県・両市、両市の商工会・観光協会等59団体)を組織し、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想の推進 ・川代溪谷ラインパーク(仮称)エリアの充実 川代溪谷エリア(周辺含む)利活用促進にかかるワークショップの実施 実施日:第1回 6月25日(土) 第2回 7月16日(土) 第3回 9月16日(金) 第4回 2月26日(日) (フィールドミュージアム・フェスタ) ・シンボルマークを活用した道路標識整備箇所等についての検討 ①博物館としての統一感を演出し、活用を進める検討委員会の設置し、すべての設置主体に共通した総合案内板のデザインを設定 ②ガイドマップ等へのデザイン利用の促進を図るため、デザインマニュアルを策定	2,102,000 (丹波県民局受託)	2,068,902	
	・ 丹波氷上回廊ホームページの運営	丹波地域の気候風土や歴史文化に大きな影響を与えた「氷上回廊」を広く紹介するとともに、生物多様性保全や地球温暖化防止などの環境意識の啓発を目的として、ホームページ「氷上回廊」のコンテンツの充実を図る。	○丹波氷上回廊ホームページの更新、修正業務 ・既存コンテンツにおける追加情報作成、画像データ・写真の更新、現状の部分のテキストの書き換え等の修正、それに伴うプログラミング作業 4~5月:2本、6月:4本、7月:5本 8月:5本、9月:3本 ・丹波氷上回廊ホームページのメンテナンス業務	182,000 (丹波市受託)	181,982	
	・ たんば交流実践リーダー育成モデル事業	丹波地域の少子高齢化、急速な人口減少に移住促進と相まって対応するため、県民交流広場実施団体の構成員の人材育成を行い、各地区の都市との交流等の取り組みの新展開を図る。	丹波地域の住民本位の主体的・計画的・継続的な「都市との交流」等を展開できるよう、地区等において住民の育成・指導を行うリーダーを育成するための事業を実施 第1回 6月25日(土) 第2回 9月3日(土) 第3回 12月3日(土)	969,000 (丹波県民局受託)	966,667	
	・ 「地域ラボ」整備可能性調査検討業務	篠山市の地域資源の活用や地域課題の解決につながるソーシャルビジネスを実践できる仕組みを作り、併せて若者のしごと創出と移住定住を促進するための枠組みである「地域ラボ」を設立し、運営を開始するにあたり、起業者の受け入れ体制づくりや関係する地域団体との調整及び実施方法について調査・検討を行う。	本年度は市内19地区へのヒアリングの実施、若者の地域内への受け入れに対する住民やまち協等の協力可能体制の把握、地区の意向打診やモデル地区へのアンケート実施などについて、委託者である篠山市と協議の上、決定する。 市役所協議:4月14日、5月19日、6月1日、7月4日 地元説明会:7月21日、8月11日、8月23日、9月14日	1,438,000 (篠山市受託)	1,429,544	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	キ 花づくり活動支援事業	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	<p>〈花と緑の教室〉</p> <p>内 容：草花等の育成に関する知識習得、寄せ植えを中心とした実習</p> <p>受講者数：53人</p> <p>受講料：13,000円(前期) 14,000円(後期)</p> <p>講師：県立フラワーセンター職員</p> <p>実施日：5～3月(年10回：4月、1月を除き毎月1回開催)</p> <p>〈園芸教室〉</p> <p>内 容：コンテスト出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を個々に指導</p> <p>受講者数：35人</p> <p>受講料：6,000円</p> <p>講師：但馬高原植物園植栽主任 田丸和美</p> <p>実施日：5・6・7・10・12・3月(年6回)</p>	1,573,000	1,573,000	
	ク 丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各階層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	ふれあいの祭典丹波ふれあいフェスティバルと一体的に開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月29日(土)～30日(日) ・実施内容：ステージ発表、ツリーイング、クイズラリー他 ・参加者数：41,000人(ふれあいの祭典全体) 	650,000	650,000	
	ケ 丹波の森収穫祭(なみきみちまつり)の開催	丹波地域の数多い特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。	<p>また併せて、丹波地域において取り組まれている「フィールドミュージアム構想の推進」や「森づくり活動」「里山再生」などの活動状況を広くPRし、参画と協働を呼びかける。</p> <p>収穫祭を成功に導くためには、地域との連携が何より重要であるため、準備から実行までを地域住民を中心とする実行委員会でお世話になり、これに県・市の関係機関等にお願いいただき、総括指定管理者である兵庫丹波の森協会が主管なり、開催にこぎつけた。</p> <p>まつりの内容としては、「食・森・楽・音」の4つのテーマを基調にさまざまなプログラムを企画・実行するとともに、「恐竜化石」関連のイベントも実施した。当日は天候にも恵まれ、公園内は収穫祭を祝う人々であふれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月2日(日) ・場 所：丹波並木道中央公園 ・参加者数：6,256人 	1,607,000	1,601,318	
	コ 丹波年輪の里事業	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	<p>○工作室における木工クラフトの指導(通年)</p> <p>子どもたちには木に触れ、木でものを創る楽しさを、大人には木工クラフト基礎や楽しさを指導</p> <p>団体 299団体 3,314人 個人 2,934人</p> <p>○ゴールデンウィークフェスタ</p> <p>開催期間：4月29日(金)～5月5日(木)</p> <p>入場者数：7,100人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子工作教室 開催日：5月3日(火)・5日(木)(2回) 参加者数：39人 ・ウッドワーカーズクラフト(旧木づくり手づくり市) 開催日：4月30日(土)・5月1日(日) 参加者数：延べ63店 ・アトリエ作品展 開催期間：4月29日(金)～5月5日(木) 入場者数：2,128人 ・フリーマーケット 開催日：5月3日(火) 40店 5月4日(水) 42店 ・竹とんぼ教室 開催日：5月4日(水) 参加者数：54人 	2,779,000	2,765,700	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<ul style="list-style-type: none"> ・ツリーイング教室 開催日：5月4日(水) 参加者数：48人 ○平日グランドゴルフ 営業日：98日 参加者数：2,108人 ○林産指導事業 木を暮らしに取り入れるための普及(通年) <ul style="list-style-type: none"> ・webサイトからの木材に関する情報提供 ・木材研修会、木質セミナーなど開催 ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。 ・木育キャラバン 県下の幼稚園、保育園等を訪問し、木のおもちゃの遊びを通じて木育活動を実施。 保育士等職員、保護者等に対して最新の情報を提供する。 			
	サ 丹波並木道中央公園事業	<p>平成28年4月から兵庫県園芸・公園協会とのJVによる指定管理の代表者として、次の目的を達成するため、公園運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 利用者が快適かつ安全に利用できる公園管理 ② 多彩な企画プログラムやイベントの実施 ③ 当公園の特性を考慮した質の高い園地や植物の管理 ④ 利用者の声を反映した平等かつ公正な運営 ⑤ 公園立地地域及び住民との広範な連携と協働 ⑥ 公園立地の自然環境に配慮した管理運営 ⑦ 当協会及び兵庫県園芸・公園協会が運営する公園施設との連携 ⑧ 公園運営の住民参画の推進 ⑨ 丹波県民局、篠山市及び丹波市との連携 	<p>利用促進事業(自主事業・参加型プログラム)の企画・運営</p> <p>【環境学習事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨモギ草木染体験 開催日：6月11日(土) 参加者数：18人 ・昆虫観察会と標本作り 開催日：8月13日(土)～14日(日) 参加者数：延べ14人 ・ツリーイング体験 開催日：5月5日(木)、10月2日(日) 参加者数：延べ61人 ・里山のイベントの開催 開催日：5月5日(木) 入園者数：1,889人 <p>【都市・農村の交流事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤米の栽培体験(5月下旬) 参加者数：5団体＋一般延べ202人 ・赤米の収穫体験(10月下旬) 参加者数：5団体＋一般延べ172人 ・黒枝豆の収穫体験(10月) 参加者数：延べ175人 ・茶かぶき体験 開催日：6月5日(日) 参加者数：20人 ・紅茶づくり体験 開催日：8月8日(日) 参加者数：5人 ・寒茶づくり体験 開催日：1月29日(日) 参加者数：2人 <p>【地域づくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てサークル等のプログラム提供 <ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉遊び 開催日：5月25日(月) 参加者数：1グループ ・そうめん流し 開催期間：5月～9月 参加者数：延べ20団体 ・プール遊び 開催期間：7月～9月 参加者数：112人 ○地域団体が主催するイベントへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ママチャレ 開催日：5月28日(土) 参加者数：4,562人 ・秋のなみきみちマルシェ 開催日：9月2日(日) 参加者数：6,256人 ・歯科衛生士会のイベント 開催日：9月25日(日) 参加者数：70人 ・春のなみきみちマルシェ 開催日：3月19日(日) 参加者数：5,958人 	1,783,000	1,782,528	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○地域のスポーツ・芸術・文化団体への会場提供と催しへの全面協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波彫刻会展示会 開催日：4月16日(土)～19日(火) ・狂言の会発表会 開催日：7月2日(土) 参加者数：70人 ・篠山市ミニ駅伝大会 開催日：11月5日(土) 入園者数：1,061人 ・篠山市駅伝競走大会 開催日：12月23日(金) 入園者数：243人 ・オリエンテーリング大会 開催日：12月24日(土) 参加者数：170人 ・大山三世交流 開催日：3月12日(日) 参加者数：353人 <p>○公園の植樹・森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住友ゴム工業(株) 「ロマンの森」植樹活動 活動日：5月12日(木) 75人参加 7月2日(日) 130人参加 10月22日(日) 120人参加 ・里山スクール(篠山市と共催) 開催期間：7月～1月 参加者数：4人 <p>○健康づくりプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキング 毎月1回開催 参加者数：延べ60人 <p>○間伐材を使用した木工教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の木工教室 実施期間：毎月第1、第3土曜日 参加者数：延べ75人 ・こどもクラフト体験 参加者数：延べ212人 ・森のギターづくり 開催日：8月21日(日) 参加者数：15人 ・シャミレづくり 開催日：11月20日(日) 参加者数：15人 <p>○恐竜化石関連イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐竜化石発掘体験会 (篠山市教育委員会連携) 4回実施 参加者数：延べ100人 <p>○花と緑を活かしたイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の教室 毎月1回開催 参加者数：延べ200人 ・菊の小品盆栽講座 毎月1回開催 参加者数：延べ100人 ・プリザーブドフラワーアレンジメント 7回開催 参加者数：延べ122人 <p>○丹波県民局、篠山市及び丹波市が実施する地域活性化のための諸施策への協力：丹波恐竜化石フィールドミュージアム事業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドミュージアムキット活用 開催日：8月6日(土) ・化石石割調査 開催日：9月1日(木)、9月10日(土)、12月14日(水) ・アカデミックツアー 開催日：12月10日(土) <p>【効果的な広報・PRの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園広報誌「PARK LIFE」の発行 夏号(7月)13000部 秋号(9月)13000部 冬号(1月)13000部 春号(4月)13000部 <p>篠山市・丹波市の全小学生や周辺の施設等に配布</p>			

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	〔森づくり講座の開設〕 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点として研修の提供 ・日程：6～12月 4講座 計9回開催 ・受講者数：延べ36人 〔環境学習体験フィールドの整備〕 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら生き物飼育場などを整備	292,000	292,000	
	イ 里山創造活動支援事業	自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山のふれあいの場の整備を推進する。	森づくりスタッフOBによる自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援。 ・里山倶楽部会員数：25人	50,000	3,628	
	ウ 森づくりアドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。	〔森づくり出前講座〕 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、環境学習や森づくりの相談・指導・支援 ・派遣回数 林研共関係：28回 【(3)ア 丹波の森公苑環境学習推進事業と並行して実施】	0	0	
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくためオオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを継続して飼育展示。 また、小学校区を中心とした地域での飼育を推進するため、関係機関等との連携強化。 そのほか、国蝶オオムラサキの舞う里山づくりの啓発のため、小学生を対象にイメージ画コンテストを実施。 ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導(20小学校、1高校、7事業所等) ・放蝶会：7月3日(日) 参加者数：120人 放蝶数：80頭 ・イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8月2日(火) ～9月30日(金) 応募点数：73点 ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携	222,000	222,000	
オ ささやまの森公園事業	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	(ア)基本プログラム ・里山体験班：ちまき作り、黒豆を栽培しよう、梅味噌と梅ジュースを作ろう、ミニチュアハウスを作ろう等 プログラム回数：39回 参加者数：495人 ・自然学習班：バードウォッチング、ヒメボタルを観よう等 プログラム回数：13回 参加者数：201人 ・レクリエーション班：稲作体験、深山登山、宿泊キャンプ等 プログラム回数：16回 参加者数：267人 ・里山復元班：丸太のテーブル作り、森の時計作り、帽子掛け作り等 プログラム回数：17回 参加者数：181人 プログラム回数合計：85回 参加者数合計：1,144人	7,154,800	7,096,319		

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			(イ)特別プログラム ・「里山の日」特別企画：木のおもちゃ作り、竹笛作り ・夏休み特別企画：太陽光を使ってお菓子作りや鳥の置物作り (ウ)団体プログラム ・団体利用：石けん作り、木工クラフト等 参加者数：26 団体、759 人 ・森の学校（第9期生） 生きもの観察、源流探検、飯ごう炊飯等 参加者数：小学3年～6年生 18人(10回/年) ・篠山東雲高校「里山文化」（第1回） 間伐体験、丸太のベンチ作り、草木染め等 参加者数：生徒16人（13回/年）			
(3) 生物多様性を育む里山のふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	【子ども対象プログラム】 ○丹波縄文の森塾の開催 期 間：5月～3月（11回/年、キャンプ2泊3日を含む） 参加塾生：小学4年～6年生 25人（篠山市及び丹波市） 参 加 費：6,500円 6,500円（キャンプ） 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ（2泊3日）、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察など 【親子・家族対象プログラム】 ○春の里山ふれあいハイキング 開 催 日：5月1日（日） 参加者数：14人 参 加 費：300円（小学生以上） 【リーダー養成プログラム】 縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人16人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培っている。 【学習環境学習支援プログラム】 ○里山の秋の実り体験 期間：9月27日（火）～10月25日（火） 参加者：篠山市及び丹波市内の保育園児、幼稚園児、小学生及び引率者23施設1,212人 ○国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し 開 催 日：2月18日（土） 参加者数：15人（大人11人、子ども4人） ○出前講座の実施 ○公苑における学習支援	1,041,000	1,023,607	
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	161,281,532	160,403,587 (宛)12,984,212 (輪)89,954,548 (さ)19,278,303 (並)38,186,524	

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を、広く住民に紹介することにより、コミュニティ再生の気運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図る。	○情報誌「丹波の森」による情報発信 年2回発行 ○管内の県民交流広場の活動等を冊子(イベント情報)にまとめ、関係機関・団体等に配布するとともにホームページで発信 年4回(4月、7月、10月、1月)	30,000	30,000	
	イ スポーツ大会・文化教室の開催	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会、竹とんぼ大会を開催する。また、工作室などを利用する木工特別教室、マイ箸づくり、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 木彫り教室、刀研ぎ塾、木工特別工作教室、木工基礎中級講座、木工クラブなど ・参加費：500円～800円(材料費別) ・開催回数：95回 参加者数：810人 ○コバ柏原少年サッカー大会 ・参加費：1チーム 500円 ・開催日：8月13日(土)～14日(日) ・参加チーム数：県内外より11チーム ・参加者数：460人 ○つくって飛ばそう竹とんぼ大会 開催日：8月28日(日) 参加費：1,000円(子ども無料) 参加者数：16人 ○グラウンドゴルフ大会(年4回予定) 参加費：500円 開催日：5月31日(火) 参加者数：134人 9月13日(火) 参加者数：154人 12月6日(火) 参加者数：184人 3月7日(火) 参加者数：204人 ○夏休みミニコンサート 開催日：8月13日(土) 午前2回、午後1回 計3回 参加者数：114人 内 容：親子で耳馴染みの音楽を生演奏で聞いたり、手遊び、絵本の読み聞かせ等、夏のひと時をゆっくと過ごす。 ○サークル教室 ・1回使用 1,500円 ・延べ99回 712人	3,000,000	2,991,968	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供 【(3)ア 生活創造活動支援事業と並行して実施】	0	0	
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60名 ・受講者数：222人(1年54人、2年56人、3年57人、4年55人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期：4月～3月までの18回 ・受講料：12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：28人(1年8人、2年20人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期：4月～3月までの19回 ・受講料：12,500円	2,144,000	2,144,000	
	ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学院)の開設					

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるための学習の機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「丹波を形づくったもの」 ・日 程：9月10日(土)～12月17日(土) 全5回 ・場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム ・募集定員：150人 ・受講者数：160人 ・講 師：野田泰三(京都光華女子大学教授) ほか ・受講料：5,000円 	800,000	800,000	
	オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業	生活の創造や豊かな地域社会づくりを実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・助成内容：住民の企画する学習会・研修会などに派遣する講師への謝金を助成 ・助成講座数：3件 	90,000	90,000	
	カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会 ・日 程：9月30日(金) ・場 所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等 ・参加者数：600人(丹波管内の高齢者大学受講生など) ・内 容：式典、記念講演(小林誠人(公立豊岡病院但馬救命救急センター長)、高齢者の主張発表、芸能発表、作品展 ○学ぶ高齢者のつどい中央大会 ・日 程：11月25日(金) ・場 所：淡路文化会館 ・参加者数：500人(県内の高齢者大学受講生など) 	340,000	340,000	
(3) からの安全安心の推進	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。)	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、消費者被害防止のための普及啓発として職員による出前講座等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活創造・消費生活相談窓口の開設(日・祝日・休苑日を除く、土は事前予約制) 相談件数 318件 ・出前講座の実施(27回772人) ・消費生活にゆーすの発行 年4回(各回約1,000部発行) 	210,000	210,000	
		生活創造活動グループサポート事業 丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供 ・情報誌「丹波の森」による情報発信(6月、1月) 			
(4) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 期間：6月7日(火)～11日(土) 受入数：丹波の森公苑 3人 丹波年輪の里 5人 ささやまの森公園 3人 丹波並木道中央公園 5人 ・インターンシップ(高校生) 期間：11月8日(火)～11日(金) 受入数：丹波の森公苑 2人 	10,000	10,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日 程：7月21日(木)～10月22日(土) (全15回) ・場 所：丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対 象 者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・参加者数：41人 ・指 導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 【発表公演(「劇団ウエスト」の俳優との共演)】 ・日 時：10月23日(日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・演 目：「Sing Together」 (劇団ウエストのオリジナル) ・入 場 料：大人500円、高校生以下300円 ・入場者数：547人	1,516,600	1,516,600	
	ウ 丹波の森公苑長杯ふれあい中学生ソフトテニス大会の開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・日 程：5月4日(水・祝日) ・場 所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者：中学生 200人 (男子50ペア・女子50ペア) ・参加費：1ペア 500円	68,000	67,000	
	オ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○丹波のむかしばなしを活用した交流会、研修会の実施 ・第1回役員会：5月11日(水) ・第2回役員会：8月2日(火) ・交流研修会 日 時：12月2日(金) 場 所：篠山市立城東小学校 ○「丹波のむかしばなし」増刷 ・第1集、第2集、第3集、第4集、第6集 (各300冊) 計1,500冊 ○紙芝居等の作成費及び修復助成 3件	1,315,000	1,297,616	
(5) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	70,706,000	69,506,527	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルツの音楽を楽しみ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ガラ・コンサート(1公演) ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(4校)の実施 等	・テーマ:森の息吹き ・開催期間:9月11日(日)～11月13日(日) ・総参加者数:5,094人 ○ホールコンサート ●オープニングサロンコンサート ・日 程:9月11日(日) ・場 所:お菓子の里丹波 ミオール館(篠山市) ・参加者数:240人 ・入 場 料:3,000円(当日3,500円) ●ガラ・コンサート ・日 程:11月13日(日) ・場 所:丹波の森公苑ホール ・参加者数:429人 ・入 場 料:大人2,500円(当日3,000円)、中・高生1,000円(当日1,500円) ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校4校) ○協賛コンサート	1,500,000	1,500,000	
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	・開 催 日:8月6日(土)2回公演 ・場 所:丹波の森公苑 多目的ルーム ・内 容:劇団かかし座による影絵「長靴をはいたねこ」の公演 ・参加者数:280人 ・入 場 料:大人 600円 小人(3歳～小学生) 400円	498,000	498,000	
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○アートクラフトフェスティバル in たんば2016 ・開催日:10月1日(土)～2日(日) ・出展者:174人 ・来園者:15,000人	427,000	427,000	
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。	○一般の部 ・出展者数:75人、79点(うちテーマ29点) ・展示期間:9月18日(日)～10月2日(日) ・場 所:年輪の里木の館ホール ○ジュニアの部(高校生以下) ・展示期間:10月23日(日)～11月6日(日) ・出展数:97点 ・出展校等:小学校11校、中学校3校、高校6校、支援学校2校 計22校 個人出展2人 計124人	900,000	900,000	
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日 程:①1月25日(水)～29日(日) ②2月2日(木)～5日(日) ・場 所:①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房、展示ギャラリー ②篠山市立四季の森生涯学習センター 東館 ・出品数:806点 ・来場者数:①839人 ②537人 ○文化賞受賞者小品展 ・日 程:10月13日(木)～16日(日) ・場 所:丹波の森公苑 多目的ルーム ・来場者数:82人	120,000	120,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 展示ギャラリーの開設	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	・利用件数：26回 (ちぎり絵展、絵画展、写真展など)	10,000	10,000	
	オ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞会の提供 ・開催日：5月15日(日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・内 容：第8回丹波の森童謡唱歌の祭典の中で、山南町「金屋神楽舞」が出演 ・参加者数：700人 ○子どもたちのための和楽器観賞会 (丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：1月～2月 ・場 所：丹波管内の小学校10校 ・参加者数：584人	200,000	200,000	
	カ 座っ展2016-丹波でうまれた木の椅子	木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを感じていただき、「年輪の里」「木工の里丹波」名称の広報周知を図るため、丹波地域で創作活動をする木工家14名30脚の木の椅子の展示会を開催する。	・開催期間：4月29日(金・祝)～5月5日(木) (年輪の里GWフェスタ) ・展示会場：年輪の里 木の館ホール ・見学者数：1,245人 ・アンケート実施回答者数：773人	73,000	70,541	
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	27,693,000	27,592,061	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報誌「丹波の森」の発行等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを開設・運営し、タイムリーな情報を提供する。	○情報誌「丹波の森」(年2回発行) ・6月：41,000部発行 ・1月：41,000部発行 ○メールマガジン「たんばもりびとにゅーす」 ・月2回 183人に発信 ○年報(年1回発行) ・8月発行 HP等に掲示 ○協会ニュース2016 12月発行、関係団体に配布及びHPに掲示 ○ホームページによる情報発信 ・更新：毎月3回(1日、11日、21日) ・アクセス件数：延べ 22,281件	1,817,000	1,793,276 (局) 763,276 (苑) 943,000 (輪) 67,000 (さ) 10,000 (並) 10,000	
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 3月16日(木) 11名出席 ○丹波年輪の里運営協議会 3月17日(金) 12名出席 ○ささやまの森公園運営協議会 3月8日(水) 14名出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 第1回 7月26日(火) 17名出席 第2回 1月27日(金) 17名出席	365,000	334,342 (苑) 200,000 (輪) 42,405 (さ) 41,937 (並) 50,000	
	ウ 丹波の森公苑開園20周年記念式典	開園20周年の節目にあたり、関係者への感謝の意を表すとともに、今後も多彩な学習、交流、地域づくりを推進し、事業や施設運営へのさらなる県民参画を促進するため、開園20周年記念式典を開催する。	1 日 時 4月29日(金・祝) 2 場 所 丹波の森公苑ホール 3 参加者 500人 4 内 容 ○オープニングコンサート ○記念式典 ・挨拶 ・祝辞 ・感謝状贈呈 ・20年を振り返る映像 ・若者からのメッセージ ○記念植樹 ○森の苑遊会	1,055,000	845,000	

Ⅱ 収益事業会計等

収 1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業	<p>1 公益目的以外の施設の貸与</p> <p>県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。</p> <p>2 施設利用者への利便提供事業</p> <p>(1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置</p> <p>(2) 管理運営施設における物品販売場所の提供</p> <p>3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売</p>	<p>1 公益目的以外で施設を貸与している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 <p>2 施設利用者への利便提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 <p>(1) 飲み物の自販機設置</p> <p>(2) 物販販売場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 <p>3 木工クラフトキット、加工木材等を販売。</p>	6,371,000	6,112,999 (宛) 1,751,000 (輸) 4,337,959 (並) 24,040	

他 1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	<p>○丹波文化団体協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成団体数：33 団体 ●兵庫県地域文化を考えるシンポジウム (県内持回り。28 年度は丹波が当番) ・日 程：10 月 11 日 (火) ・場 所：ユニットピアささやま ・内 容：基調講演、パネルディスカッション、アトラクションなど ・参加者数：330 人 <p>○日本の童謡・唱歌を広める会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第 8 回丹波の森童謡唱歌の祭典 ・日 程：5 月 15 日 (日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・参加者数：700 人 <p>○丹波の森ふれあいステージ実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：6 月 5 日 (日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・参加者数：400 人 	200,000	200,000	

Ⅲ 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会および理事会開催 ・ 協会事務局の維持・運営 	<p>【評議員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第8回評議員会：4月20日（水）（書面同意） ・ 評議員（2名）の選任について ○第9回評議員会：6月28日（火）10名出席 ・ 平成27年度事業報告及び収支決算承認並びに役員等の選任について ○第10回評議員会：12月5日（月）（書面同意） ・ 理事（1名）の選任について <p>【理事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第15回理事会：6月14日（火） 理事8名・監事1名出席 ・ 平成27年度事業報告及び収支決算承認並びに第9回評議員会の招集について ○第16回理事会：6月28日（火）（書面同意） ・ 理事長、副理事長及び常務理事の選任について ○第17回理事会：11月17日（木）（書面同意） ・ 第10回評議員会の招集について ○第18回理事会：12月5日（月）（書面同意） ・ 理事長及び副理事長の選任について ○第19回理事会：3月24日（金） 理事7名・監事1名出席 ・ 平成29年度事業計画及び収支予算並びに第11回評議員会の招集について <p>【監事監査】 5月27日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度事業報告及び収支決算について <p>【中間監事監査】 11月16日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度上半期事業報告及び収支決算（中間）について <ul style="list-style-type: none"> ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費 	12,651,000	12,403,513 (局) 12,170,213 (宛) 95,000 (輸) 62,000 (さ) 30,000 (並) 46,300	

平成28年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1)丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	311 ^日	94 ^日	30.2 [%]	23,815 ^人	3,376,660 ^円	3,360,840 ^円	100.5 [%]
練習室兼楽屋	311	191	61.4	6,153	524,040	485,200	108.0
楽屋A	311	64	20.6	712	91,600	76,680	119.5
楽屋B	311	54	17.4	267	33,490	26,580	126.0
創作工房	311	126	40.5	4,459	342,900	345,350	99.3
多目的ルーム	311	195	62.7	16,617	1,231,600	1,325,500	92.9
和室	311	109	35.0	896	82,650	93,830	88.1
会議室1	311	202	65.0	2,731	202,790	227,370	89.2
会議室2	311	163	52.4	1,461	145,440	134,030	108.5
会議室3	311	127	40.8	2,331	224,100	247,300	90.6
セミナー室	311	157	50.5	5,478	621,850	582,720	106.7
絵画アトリエ	363	363	100.0	1,820	521,200	524,800	99.3
彫刻アトリエ	363	20	5.5	23	46,010	3,910	1,176.7
テニスコート	281	236	84.0	10,385	2,896,170	2,912,130	99.5
グラウンド	281	178	63.3	11,283	470,860	486,940	96.7
計	4,709	2,279	48.4	88,431	10,811,360	10,833,180	99.8
前年度計	4,768	2,281	47.8	91,757			
前年度対比		99.9 [%]	101.2 [%]	96.4 [%]			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	308	0	0.0	29,850	0	0	0.0
工作室A	308	16	5.2	603	32,000	25,000	128.0
工作室B	308	58	18.8	2,711	76,300	78,400	97.3
アトリエA	308	105	34.1	1,868	2,000	4,000	50.0
研修室A	308	106	34.4	4,280	253,500	168,000	150.9
研修室B	308	70	22.7	1,204	56,750	55,800	101.7
会議室	308	160	51.9	1,398	91,800	62,600	146.6
工作共同	308	270	87.7	2,934	232,270	291,870	79.6
イベント広場	308	215	69.8	47,859	288,000	274,170	105.0
計	2,772	1,000	36.1	92,707	1,032,620	959,840	107.6
前年度計	2,772	1,061	38.3	86,858			
前年度対比		94.3%	94.2%	106.7%			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	308			10,514			
プログラム				3,258			
団体利用				1,268			
その他				462			
運営協議会				14			
計				15,516			
前年度計	308			18,829			
前年度対比				82.4%			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	359			119,880			
プログラム				15,952			
団体利用				5,471			
その他				0			
円卓会議				34			
計				141,337			
前年度上期計							
前年度対比				%			

平成28年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	99,134,000	99,134,000	300,000	県立丹波の森公苑に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	90,163,538	90,163,538	5,005,538	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械警備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務 等		
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	7,444,000	7,444,000	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	38,930,000	38,930,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る運営管理			
川代渓谷ラインパーク・ワークションツプの開催	丹波県民局	2,226,000	2,226,000	2,226,000	「川代渓谷ラインパーク」エリアの充実を図るため、川代渓谷エリア(周辺含む)の利活用に繋がるテーマを設定し、ワークションツプを開催する。			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム「インボルマークを活用した道路標識整備箇所等」についての検討」業務	丹波県民局	300,000	300,000	300,000	博物館としての統一感を演出し、活用を進める検討委員会を設置し、すべての設置主体に共通した総合案内看板のデザインを設定するとともに、ガイドマップ等へのデザイン利用の促進を図るため、デザインマニュアルを策定する。			
丹波交流実践リーダー育成モデル事業	丹波県民局	1,000,000	1,000,000	1,000,000	丹波地域の住民本位の主体的・計画的・継続的な「都市との交流」等を展開できるよう、地区等において住民の育成・指導を行うリーダーを育成するための事業を実施する。			
丹波水回廊ホームページ更新業務	丹波市	200,000	200,000	200,000	自然環境情報発信ホームページ「水回廊」の、土地利用から地場産業、暮らし、歴史までの情報を加え、より充実したWebサイトへと更新を図る。			
学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生がいき創造協会	150,000	150,000	0	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や創作作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
「地域ラボ」整備可能性調査検討業務	篠山市	2,332,800	2,332,800	2,332,800	篠山市の地域資源の活用や地域課題の解決につながるソーシャルビジネスを学び、実践できる仕組みを整備することにより、若者のしごと創出と移住定住を促進するとともに、地元住民の意識変革を促し、安心な暮らしを自分たちで維持することにつながる。この取り組みを推進する「地域ラボ」の設立及び運営開始にあたり、地域の意向に即し、起業者の受け入れ体制を整え、若者のまちづくり拠点化を進めることを目的に、関係各社との調整や実現可能性、実現方法について調査・検討を行う。			

241,880,338 241,880,338 11,364,338

0